

# 風がふいています

~動き始めたグリーンライン再生~

---

特定非営利活動法人  
グリーンラインを愛する会

「鞆の浦架橋」の断念を契機として、  
グリーンラインのバイパス機能に注目が・・・

特に広島県は

「バイパスとしての安全性や魅力を向上させる」  
ことを真剣に考え、それを事業化し始めました。

その最初の動きが、2014年の

「鞆地区まちづくり推進事業所」の設置でした。

そして、

グリーンラインで具体的な動きが始まりました。





## 観光交通の誘導について

### 1 試験運用結果の概要

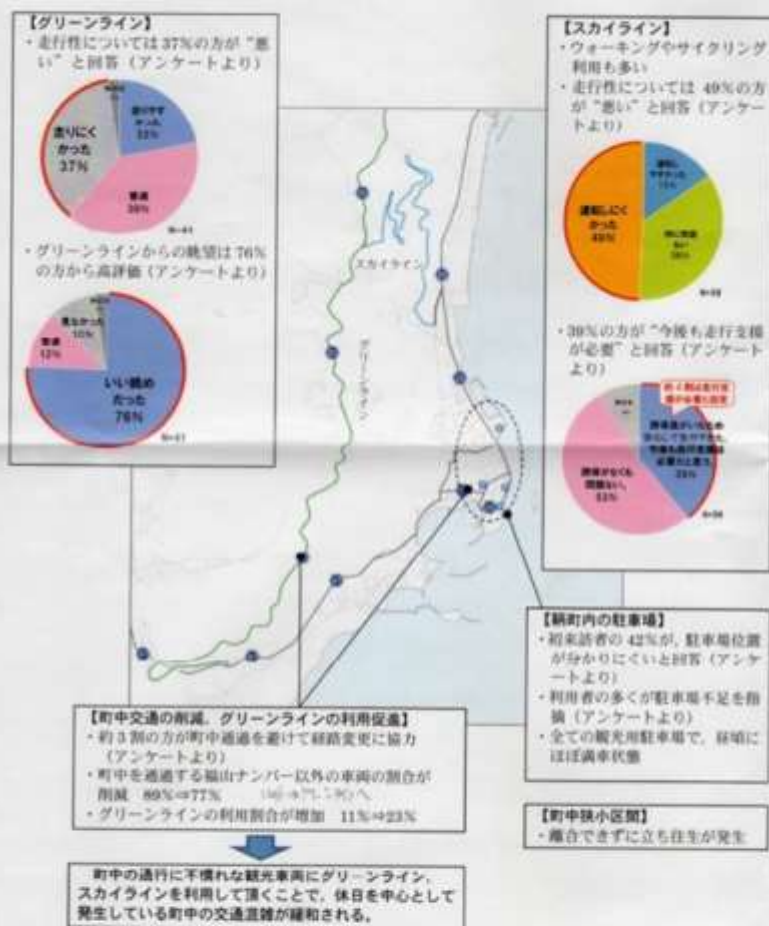


図-1 試験運用結果の概要

## 資料⑥

### 2 今後の取組方針について

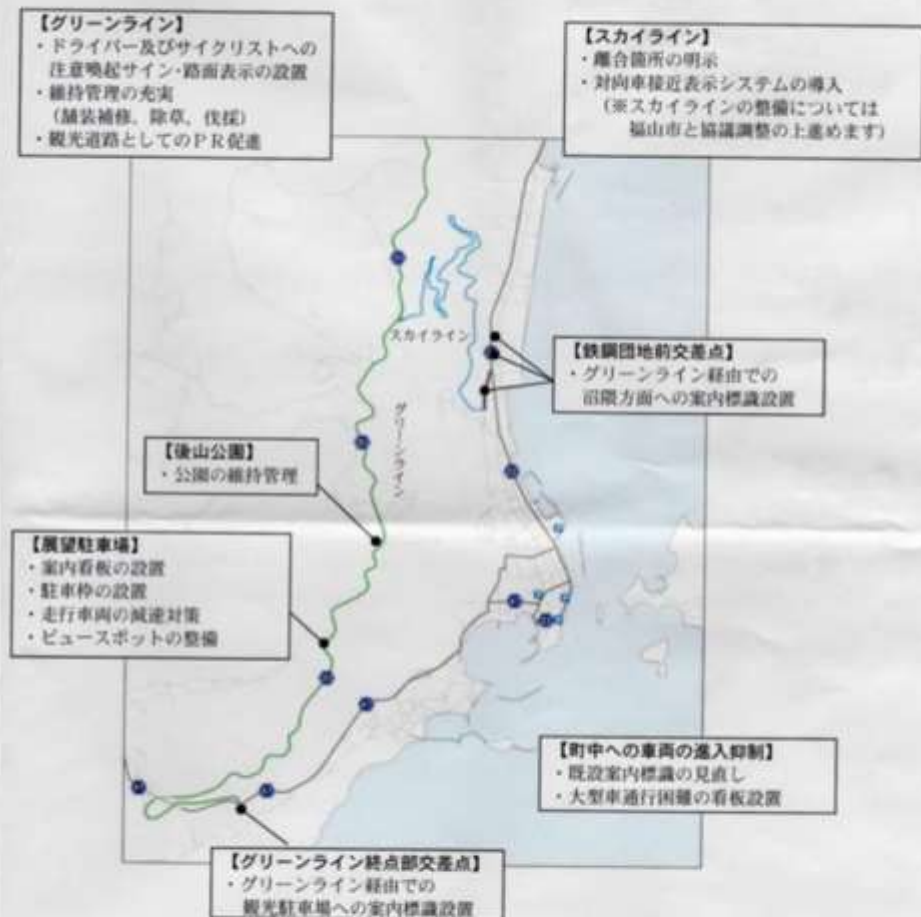


図-2 今後の取組方針

ほどなくして社会実験のレポートが作成されました。

それは単なるレポートではなく、

今後の整備の構想を含む予想を超えたレポートでした。





さらに「広島県鞆地区まちづくり推進事業所」とは  
現地でも詳細な打ち合わせをさせていただきました。





「ファミリーパーク市民の森整備事業」のご紹介  
 ～「地帯の公共空間の環境解決」を「環境連携」で解決する手法を学ぶ～

グリーンラインは2000年頃までは、「緑地」と、野犬と、無主地と、不法投棄のグリーンラインと呼ばれていました

グリーンラインを愛する会は、ここで様々な事業を行って来ました

そしてここはこんな場所も…

そしてここがファミリーパーク

ファミリーパーク北公園

登山遊地

公園の整備  
 「既設設備の整備」「遊歩道の整備」「植樹」「森林整備」などなど

公園の利活用  
 「利活用方法を考え」「利活用を呼びかけ」「利活用の質を高める異なる整備」

この事業が進んで、こんな利活用が期待できると考えています。

そこに豊かな自然があれば、ひとりひとりが好きなスタイルで、色々な楽しみ方が出来る

特定非営利活動法人 グリーンラインを愛する会

写真: 犬の散歩、車の不法投棄、キャンプ場、公園整備作業、ファミリーパーク北公園、登山遊地、市民の森、公園の整備、公園の利活用、子供たちが遊ぶ様子、自然の風景、人々が楽しむ様子

2016年は、グリーンラインへの視察や、団体交流も活発でした。  
 福山大学とは関田准教授のゼミで、  
 グリーンラインを愛する会の活動についてお話をしました。  
 6月には今治市の「NPOすいせい」に福山においていただき、  
 本会との交流を行いました。  
 11月には「JICA国際研修」の研修生、  
 10カ国15名をお迎えしました。

















仙酔島での事故を受けて、  
広島県は全部の公園で緊急点検を行った。  
後山園地も、公園中に「危険」のテープが付けられた。



# 木製遊具 撤去か維持か

## 老朽化進み管理難 福山市で大げが



福山市で、木製遊具の撤去か維持かの議論が沸騰している。写真は、福山市の公園に設置された木製遊具の一角で、黄色いテープが張られている様子。



公設の遊具で子どもの事故が頻発しない、特に木製遊具は今年、福山市の園内施設が老朽化が進み、撤去か維持かの議論が沸騰している。大げがをした。福山市の木製遊具は、大げがにより、撤去か維持かの議論が沸騰している。福山市の木製遊具は、大げがにより、撤去か維持かの議論が沸騰している。

# 住民管理を模索

仙酔島対岸の瀬戸内海国立公園後山地区。県の緊急点検後、木製の展望台などに「キケン注意」の黄色いテープが張られた。市から委託され、清掃や管理を担うNPO法人グリーンライオンを愛する会の丸山孝志理事長(69)は「行政で対応できないなら住民でやるしかない」と、インターネットで資金を募るクラウドファンディングで展望台の修繕費を確保するなど新たな手法を検討中。「公設遊具の維持管理にも活用できないか」と提案する。



本会はあらゆる手段で、広島県に施策の見直しを迫った。  
広島県・福山市への直接の働きかけはもとより、  
国会議員・県会議員・市会議員への問題提起、マスコミへの取材の依頼。  
広島県へのメール、ホームページやSNSでの情報発信・・・  
ありとあらゆる手段を総動員した。  
大勢の人達が理解し、共感し、協力してくれた。  
そして・・・





小林史明衆議院議員は要請に応じて後山園地を直接視察していただいた。

また議員には国政レベルで

「NPOが公共事業への参加ができる法整備」への道を  
検討していただくことを快諾いただいている。

本会とつながりのある国会議員・県会議員・市会議員が

それぞれの立場で、「NPOが公共空間の環境整備」に、

今以上に関わりやすい環境づくりに協力してくださっている。





更に最新ニュース

枝広市長のグリーンラインへの電撃訪問が実現しました。





5月23日火曜日、枝広市長が後山園地・ファミリーパークを視察。  
本会の活動への感謝の言葉と、  
今後の支援を約束していただきました。



ここからは・・・

「桜街道251プロジェクト」のお知らせです。







「桜街道251プロジェクト」は、  
「グリーンライン沿線の桜を守り、育てる」事を目的とします。  
グリーンラインの開通時には、沿線に数千本の桜が植えられました。  
しかし、私たちが活動を始めた17年前、  
その本数は千本にも満たないほどに減っていました。





私たちは「善意の植樹」により、

主に沿線の公園などに、今までに数百本の桜を植えました。  
17年後の今、後山園地などは昔の素晴らしい桜の園が、  
見事によみがえりました。





若木がすくすくと育ち、  
あと10年もすると、素晴らしい桜の森が生まれます。  
しかし・・・グリーンラインの道路沿いは・・・。





開通当時千本とも二千本とも言われた道路沿いの桜が、  
今、五百本を切るまでに減ってしまいました。  
あと数十年でほとんどの桜が枯れてしまいます。





「10年間で千本の桜をグリーンライン沿いに植える。」  
「桜街道251プロジェクト」はそんなプロジェクトです。  
福山の歴史に残るこのプロジェクトに、  
あなたも参加して下さい。  
あなたの夢、希望、情熱を掛ける価値があると思います。



こんな仕事があります。

- \* 沿線を調査し、植樹可能な場所を見つける。
- \* 見つけた場所を図面に作成し、リストを作ります。
- \* インターネットなどで、様々な情報を発信します。
- \* チラシを作り、印刷し、配布して協力者を増やします。
- \* 行政や支援団体等と様々な情報交換や折衝を行い、必要な手続きなどを進めます。
- \* 現場で、木を切り、草を刈り、植樹をします。
- \* 植えた桜を見回り、守って育てます。
- \* ボランティアの人達の世話をし、  
みんなが楽しく、安全に活動できる補助をします。
- \* 資金を管理し、様々な資材や機材、  
飲み物や食料などを調達し、活動を支えます。

その他にも、

きっとあなたのチカラを発揮できる仕事が見つけれられます。



もう一つお知らせです。

---





ROSE CUP FUKUYAMA-TOMONOURA  
**TRIATHLON 2017**

6月4日(日)、福山で初めてのトライアスロン  
しかも公式大会  
全国から数百名の選手が参加する。



# 6月4日 日 交通規制のお知らせ

「スカップ福山-鞆の浦トライアスロン」開催のため、下記のコース上道路、および周辺道路の交通規制を行います。ご利用の皆様にご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



**天候などによる大会中止に関するお問い合わせは**  
**0180-99-3330**  
 テレドームシステム

- ※自動でメッセージが流れます。
- ※通話料はお客様のご負担となります。
- ※PHS、プリペイドカード式携帯電話及び一部のIP電話ではご利用できない場合があります。

**ご利用可能時間(期間中は24時間対応)**  
**6月2日(金) 13:00から**  
**6月4日(日) 17:00まで**





6月4日(日)、全国から数百名が参加するこの大会に、  
あなたも(ボランティアとして)参加できます！



招待選手は「道端カレン」さん、他2名。





6月4日(日)午前6時、管理基地集合(事前申し込み必要)  
11時には解散できます。

### 「参加者特典」

- 1, ボランティア用Tシャツ
- 2, ペットボトルケース(ツムツムプリント)
- 3, お茶とお弁当
- 4, あなただけの思い出と感動





終

---